

議会運営委員会行政視察概要

令和6年11月13日（水）

於 委員会室

午後1時30分～午後3時15分

1 調査概要

「英国式議席配置後の議会運営について」

「オンライン委員会の運営方法について」

島田市議会

島田市では、令和5年10月10日から新庁舎での業務が開始されており、令和5年12月の定例会から、英国式議場で議会運営が行われている。

新庁舎における議場に英国式議場が採用された背景として、新庁舎整備の基本方針である利用者にやさしい庁舎との整合を取りつつ、議会と執行部が対等の関係のもとに活発な議論が行われ、また、開かれた議会として、傍聴席から議員等の顔が見える、バリアフリーへの対応として、議場内をフラットな形状にしやすい等々、市民から親しまれる議会を目指したとのことであった。

また、オンライン委員会の運営については、令和3年に委員会条例の改正を行い、オンラインによる開催が可能となっており、委員によるオンラインでの出席実績はあるが、説明員のオンラインによる出席実績は現在までなく、今後の検討課題ということであった。

2 主な質疑応答

問 オンライン委員会の開催要件として、「災害その他のやむを得ない理由」とされているが、「やむを得ない」とは、どの範囲までの理由を想定しているのか。

答 「やむを得ない」の前に災害と入れているが、いわゆる不可抗力により、例えば、広範囲で公共交通機関が麻痺してしまったレベルでの一つの例示として災害という言葉を出している。

個別に起こった場合には、内部での協議が必要となるかもしれないが、重大な感染症の防止など、極めて限定した要件だと考えている。

問 新庁舎の新しい議場となって、議員からの質問数や傍聴者数に変化はあったか。

答 島田市議会は従前から質問の通告には、制限をかけていないため、新庁舎になったからといって、さほど大きな差はない（ほとんどの議員が毎回質問を行っている）と考えている。

傍聴に来られる市民からは明るい雰囲気となったという感想が多く寄せられている。

また、お子さん連れの方（親子傍聴席として防音室を設置）や難聴者（傍聴席に磁気ループを配置）の方から来やすくなったとの評価をいただいております、以前に比べ、傍聴者数は1.5倍くらいに増えている。

問 議場のセキュリティはどのようになっているか。

答 通常の執務時間中には特に大きな制限をかけていることはないが、時間外については、セキュリティカードによる認証を行っている。

また、議員と市民が相談等を行う各部屋には、非常ボタンを設置している。

問 オンライン委員会の開催要件として、出産、育児、介護はどのように取り扱われるのか。

答 議員活動の環境を向上させることも、現在の議員のなり手不足の解消につながると考えられるので、今後、認めていく方向になると思われる。

問 電子採決の導入についてはどのような議論があったか。

答 新庁舎建設にあたり、検討を行ったが、起立採決が基本線にあったため、導入には至っていない。

今後、再び課題に挙がることも踏まえ、機器等の設置ができるよう、配線は行っている。

問 英国式議席での運営において演壇は必要か。

答 質問台と答弁台のみでの運営も可能であると考えますが、検討の結果、議長席の前の演壇は残すこととした。

以上